

町会なんでもおしゃべりサロン

～町会長になってからの戸惑いと新たな取り組み～

中野町会長 福田智好

町会長歴2年 令和5年～

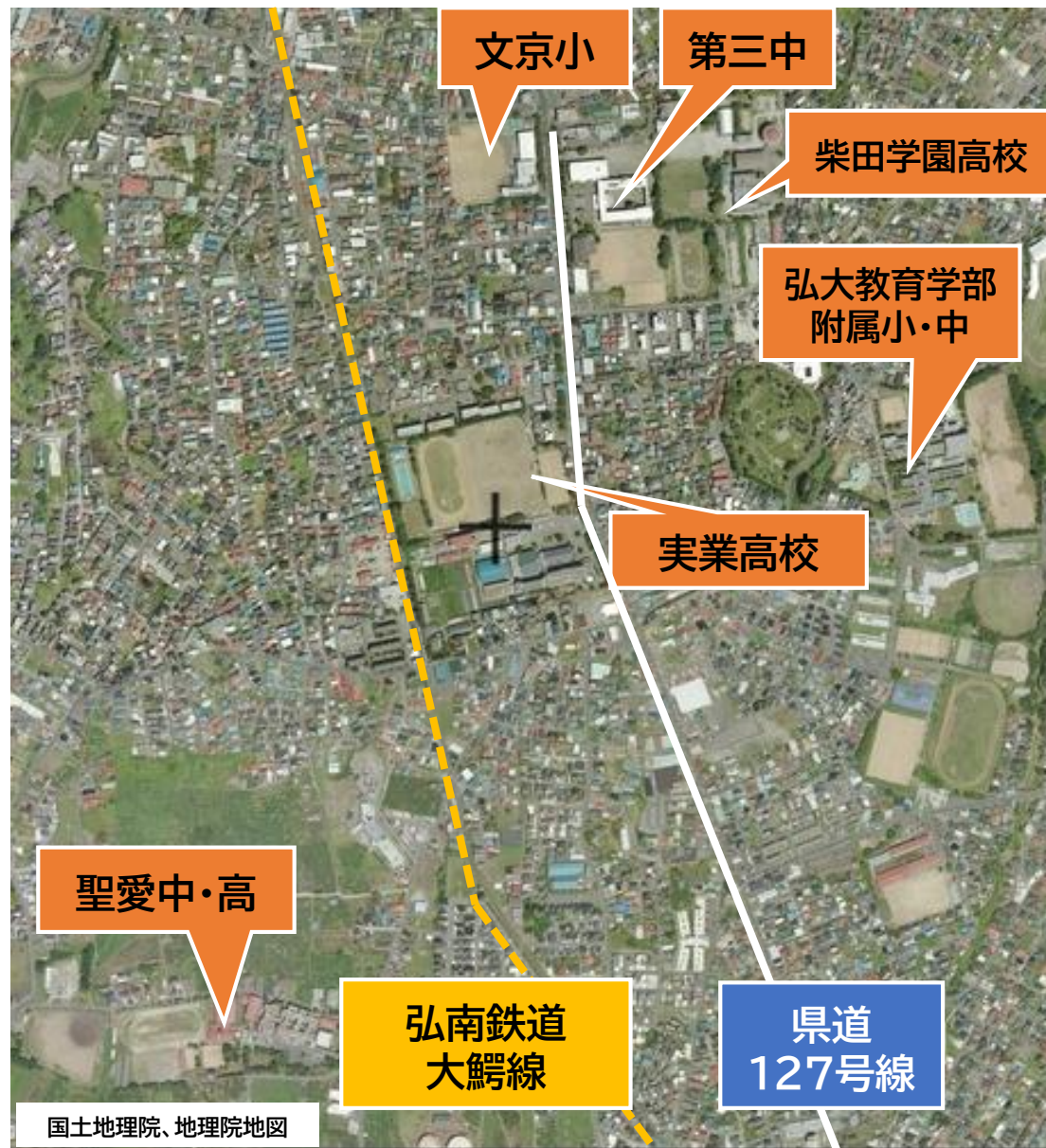
中野町会の概要

(1)地域環境

- ・買い物がしやすい。
(徒歩10分圏内)
- ・交通の便も良し。
- ・緑豊かな地域。

(2)歴史

- ・戦後に転居してきた町民が多い。
- ・71年の歴史を持つ。



中野町会の概要

(3)組織

- ・ 世帯数 650世帯
- ・ 区 数 56区(6人の世話人で対応。)
- ・ 役員数 17職(実数15、兼務2職)
⇒男性11・女性4、平均年齢77歳
- ・ 拡大役員 3職・8名
⇒事務補助員、民生委員、保健衛生委員
男性1・女性7

中野町会の概要

(4)運営

- ・ 会議 ⇒ 総務会、役員会・拡大役員会、区長会議
- ・ 監査(年3回)
- ・ 集会所管理者2名(町会長＋総務部長)
会計管理者3名(会計＋事務補助員＋会長)
- ・ 各部事業
 - ⇒各部の主体性・創意工夫を尊重。
 - ⇒予算を前渡資金として配布。

町会長となって戸惑ったこと

● 最初に戸惑ったこと

- ・ コロナ禍4年間の資料がほとんどない。
- ・ 役員の引継ぎが不十分。
- ・ コロナで活動を中止した影響で担い手や情報が不足。



再確認

町会組織

運営資源

活動可能人員

町会長となって戸惑ったこと

役員 組織

- ・ 人によって引継ぎ内容が異なる。
- ・ 老人クラブに所属している役員が多い。

会議 ・ 資料

- ・ 重要事項を決定した経緯や、町会の実務・業務について説明できる役員がいない。
- ・ 会議の名前や参集範囲が曖昧。
- ・ 総務会や役員会の会議資料がない。

運営

- ・ 長く役員をやっている人の指示を頼りに事業を実施。
- ・ 経験豊かな役員の退会。⇒ 前例を基にした運営。
- ・ すべての事業に毎回全役員が参加して支援。

新たな取り組み

● 会員の増加に向けて

- ・ 町会活動の見える化
- ・ わかりやすく、きちんと説明できる町会



区

= 町会の要

⇒ 区長が、自分の区について気軽に相談できるような町会を目指す。

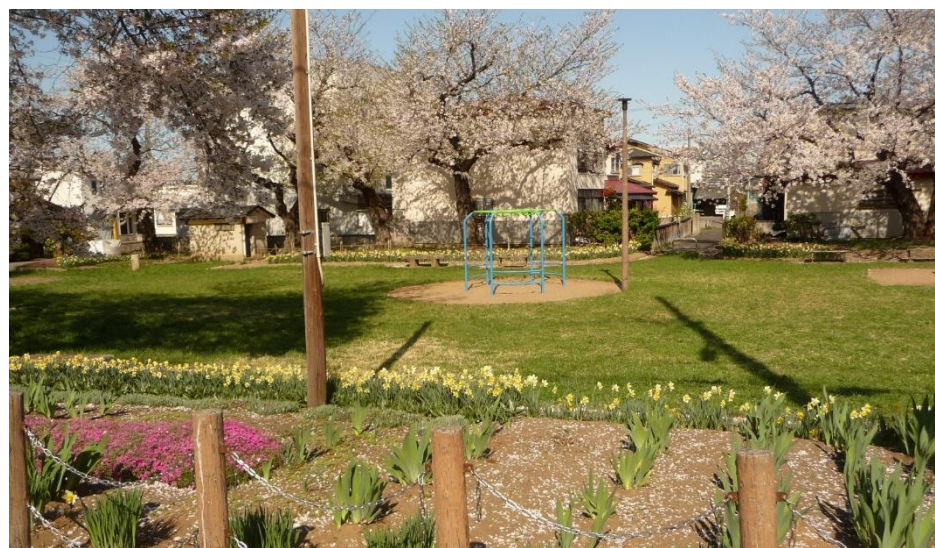
市とうまく連携し、正確な情報で、素早く回答・対応する。

「町会に加入しましょう」チラシを全戸配布する。

新たな取り組み—会員の増加に向けて—

● 具体的な取り組み

① 市廃棄物減量等推進委員との連携



新たな取り組み—会員の増加に向けて—

● 具体的な取り組み

②地域祭りで、子育て世代をターゲットに周知活動



小・中学生向け事業を増やす。



若い世代(子どもが学齢期)の
町会活動参加者増をねらう！

新たな取り組み—会員の増加に向けて—

● 具体的な取り組み

③学校の協力⇒親子での参加を増やす



この他・・・

・町会ラジオ体操(親子参加推奨) ・町内防犯パトロールの周知、参加依頼

新たな取り組み

●役員なり手育成

- ・ 会議は「参加者を大切にする」視点で話し合う。
 - ⇒マンネリ化、思い込みを防ぐようにした。
 - ⇒事務所を気軽に訪れる若い世代が増加。
- ・ 会議や行事を映像に残す。 ⇒次の人が分かるように。
- ・ 目指す事業内容
 - ⇒「地元町会＝故郷」と感じる事業。
 - ⇒町民も役員も楽しく満足する事業。
- ・ 活動部に活動資金を先渡しする。 ⇒達成感の醸成
- ・ 事業参加者から協力者を1名見つける。
 - ⇒候補者の発掘につながる。

新たな取り組み—役員なり手育成—

●事業例



新たな取り組み

●未実施事業

- ・ 町会未加入・清掃当番あたっていないゴミ集積所使用者
⇒令和7年度から協力金を依頼(予定)。
- ・ 町会未加入者の老人クラブ会員・敬老会参加者への
入会奨励活動。
- ・ 町会入会済みシール・マグネット配布



今後に向けて

町会役員全員が、すばらしい力と個性を持っている。
一方で、互いの長所をまだ知らない。



会議やその後の交流会を楽しく！
⇒知り合いになって、気兼ねなく助け合える町会にしていきたい。

声かけ・あいさつ



民生委員との連携

町会員が生き甲斐を持ち、安心安全に暮らせる町会になるよう、
一丸となって取り組んでいきたい。



町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～ Aグループ（概要版）～

開催日時：令和7年1月18日（土）午後1時から3時

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Aグループ：町会長・役員 4名

○総会の運営方法について（事前案件）

- ・出席率について。
- ・委任状の取り方について。

○敬老大会について

- ・個人情報に関係で、敬老大会の実施が大変である。
- ・町会単位と地区単位開催の違いについて。
- ・町会未加入者へ町会から負担金を出しているため、差別化が必要ではないか。

○婦人部の運営について（事前案件）

- ・部の会計方法について。
- ・各部の活動費について。
- ・手伝いの人に謝礼を支払っているか。
- ・活動事例について。また、今後の計画など。

○集会所について

- ・地元に集会所がないため、高齢者を集めて体操など開催できる他の町会が羨ましい。
- ・集会所はあるが、管理費がかかるため貸出等で工面している。

○担い手について

- ・前町会長が、担い手がいないと嘆いていたが、探していなかっただけ。どうやってみつけるかが大事。子どものイベントを企画して、付いてきた親を誘うのが、効果的。
- ・女性の町会長を推薦した。
- ・今後、少子高齢化がますます進むため、今のうちに活動の中で見つけなければならない。

町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～ B グループ（概要版）～

開催日時：令和7年1月18日（土）午後1時から3時

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

B グループ：町会長・役員 5名

○担い手について

- ・パソコンが出来る後継者（町会長）がいないため、辞められると会議資料や広報が作れない。
- ・パソコンの出来る事務方を見つければよい。町会長と接点を作り、早めにお問い合わせすれば簡単にやってもらえるかもしれない。
- ・役員に女性も入れるべき。

○除雪、ゴミについて

- ・ゴミの分別が不十分な外国人や町会未加入者について。
- ・町会での除雪について。

○総会について

- ・出席率について。
- ・開催方法について。
- ・出席率を上げる工夫について。

○町会費について

- ・減免について。

○ゴミ箱や集積所について

- ・移動式のカゴについて。

○町会の合併について

- ・複数の町会が合同で事業をおこなった事例について。
- ・解散した町会について

○町会の防災について

- ・市の出前講座で防災講座を依頼した。
- ・安否確認体制の構築が最初に必要なと思っている。
- ・町会員名簿の作成について。

町会なんでもおしゃべりサロン開催記録

～ Cグループ（概要版）～

開催日時：令和7年1月18日（土）午後1時から3時

開催場所：市役所市民防災館4階 食堂ポム

Cグループ：町会長・役員 5名

○町会運営の悩み・課題について

- ・町会長の後任が見つからない。町会活動に誰も参加しない。町会の存続について今後、総会等で検討していく。
- ・消防団や神社の負担金を併せて徴収しているため、町会費が高く感じる。
- ・町会が無くなった場合の影響について。
- ・町会を維持するための対策について。

○神社について

- ・神社費と町会費を一緒に集めているが、区別できている。

○災害時の対策について

- ・安心カード（身内の連絡先を冷蔵庫に入れておく取組）について。
- ・町会員名簿の作成について。
- ・災害時の要支援者名簿について。
- ・町会と民生委員の関係について。
- ・若い人は、家族状況の情報を結構持っている。
- ・若い人とある程度LINEで繋がっており、高齢者が誰と親戚かわかれば連絡がつく状況。